

9月議会
きょう子の
一般質問



現実的予算で実施可能な生活排水処理への転換を早急に

問 下水道事業このままでは財政への負担がますます膨らんでいく。そこで合併浄化槽へのシフトを促進させ、予算を縮減すべきではないか。

答 国から見直しが出ているため、9月補正で400万円の委託料で合併浄化槽なども含めた適正化計画を作っていく。

きょう子コメント

基金約26億円、残り6年ほどで底をつく。

下水道工事はやればやるほど借金がかさみ、平成25年度現在で約174億になっている。基金も約26億円となり残り6年ほどで底をつく。今後200億円にも及ぶ工事費、借金の返済が必要なため、早急に合併浄化槽も視野に入れた計画をしてもらいたいものである。

行政コスト削減とごみ減量のために、広域ごみ焼却場建設の説明会を

問 広域ごみ焼却場の環境・経費面において炉を小さくする必要がある。半田の二の舞にならぬためにも市民へのごみ減量を促す説明会を早急にすべきではないか。

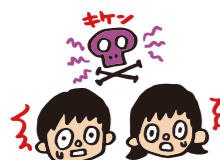
答 市民の理解、協力は必要であるので、情報開示、及び市民説明会に関し組合に要望していく。



きょう子コメント

ガイドラインを無視して続行された計画がダイオキシンの検出

前ごみ焼却場建設予定地であった半田クリーンセンターが、埋設物の記録もない最終処分場跡地であったこと、また鉛が検出されたことを皆さんはご存じでしょうか。このような土地の形質の変更をする場合、ガスや汚染が発生したり、流出したりして莫大な費用が掛かると記述されている。このガイドラインを無視して続行された計画がダイオキシンの検出という結果である。



ごみ焼却建設予定地の土壌汚染の危険性を懸念

武豊町に建設予定の2市3町の広域ごみ焼却場の隣接地にカドニウム・鉛・フッ素及びその化合物などが確認された。今後、建設予定地の動向を注視する必要がある。

雑草処理を市民協働で

問 「市長は、あき地等が不良状態にあると認めるときは、当該所有者等に対し、不良状態の除去について、必要な措置を命ずることができる」という条例があるので市所有の土地は市が責任をもち草刈すべきではないか。

答 財政厳しいので委託しているが、市の職員の対応ができる所はやっている。

問 雑草が車の安全走行や、子どもたちの通学路に危険を及ぼす。早急に市民と行政が協働し、問題解決にあたる必要があるのではないか。

答 情報提供なども含め、地区の皆さまと接する機会を増やして行くことで業務に取り組んでいく。



道路を遮る雑草

平成25年度
決算の認定
全て可決

厳しい財政状況の中、成果を上げているが……
市債残高(借金) 587億1,700万円 (一人当103万円)

決算額	歳入	歳出	市債残高
一般会計	210億1,020万円	202億7,311万円	230億4,268万円
特別会計	665億2,661万円	649億865万円	210億2,204万円
企業会計	収支	収益的決算額	資本的決算額
水道事業	収入	11億9,638万円	1億1,310万円
	支出	11億8,262万円	4億6,183万円
病院事業	収入	52億4,843万円	7億3,267万円
	支出	47億7,573万円	11億2,395万円

人口増加したのに市民税 減 歳出は人件費以外 増

平成25年度決算は、大変厳しい財政状況が続いている中、職員の人件費削減をはじめとする各種事業の削減を行い、効果を上げたことに対して大変評価するものである。しかし空港開港後、人口が増加しているのに市税はいっこうに増加せず、その上高齢人口も増え、医療費が圧迫されている。現在も右肩下がり財政で、次世代人口減少も予測されている中、保育園、社会福祉などの必要経費は必要ではある。しかし今必要だからと言って予算を増やすだけでなく、優先順位を決め、止めるものは止めるという決断が必要であろう。

人口の推移

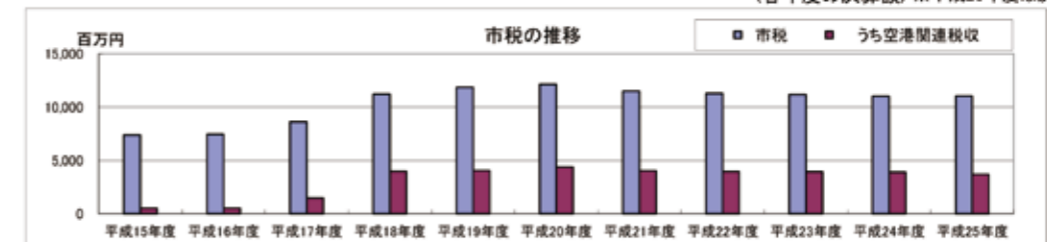
区分	平成16年3月末	平成17年3月末	平成18年3月末	平成19年3月末	平成20年3月末	平成21年3月末	平成22年3月末	平成23年3月末	平成24年3月末	平成25年3月末	平成26年3月末
人口	50,945	51,632	52,301	52,973	53,942	55,036	55,525	55,814	56,350	56,826	57,426
年少人口(0～14歳)	7,107	7,185	7,193	7,218	7,394	7,618	7,746	7,935	8,035	8,221	8,387
生産年齢人口(15～64歳)	32,671	32,998	33,301	33,545	34,050	34,618	34,777	34,777	34,961	34,860	34,906
老年人口(65歳～)	11,167	11,449	11,807	12,210	12,498	12,800	13,040	13,102	13,354	13,745	14,133
うち外国人	489	517	714	727	830	863	846	769	795	776	778

(各年3月末現在) 単位:人

市税の推移

区分	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
市税	7,373	7,443	8,613	11,207	11,843	12,120	11,494	11,267	11,171	11,001	11,024
うち空港関連税収	509	508	1,455	3,962	4,052	4,371	4,021	3,952	3,929	3,889	3,689

(各年度の決算額) ※平成25年度は決算見込み額



中部国際空港を活かしたまちづくり

収入増加策としては、中部国際空港をただの中継地点とするだけでなく、海外からの富裕層を新市民病院に受け入れたり、海外企業の誘致促進をしたり、海外からの観光客受け入れ体制づくりをし、官民一体のまちづくりを行っていきたいものである。

18台の山車が一斉に集結

10月12日、待ちに待った「とこなめ山車まつり」で競艇場西駐車場に山車18台出揃う。



モニュメント市役所北に設置

未来絵プロジェクト発案で小中学生が図案化した市民の手で製作されたモニュメント設置。

